

地域密着型サービス 第1回 運営推進会議 報告書

事業所名称 … L.C.C.ういんぐ
 サービス種類 … 地域密着型通所介護
 会議開催日 … 令和7年 9月29日(月) 10:00～
 開催場所 … L.C.C.ういんぐ 多目的ホール
 出席者

事業所	2人	利用者	2人
利用者家族	0人	地域代表者(持田地区公民館長)	1人
松江市職員	1人	包括支援センター	0人
知見を有する者	0人		

●事業所概要

【L.C.C.ういんぐ】

介護保険サービス 共生型地域密着型通所介護 定員:3名
 ・営業日:月～金(祝日含む)
 ・サービス提供時間:9:30～16:00

障害福祉サービス 就労継続支援B型 定員:22名
 生活介護 定員:30名(内通所介護3名)
 地域活動支援センターⅡ型 定員:30名

Ⅰ. 利用状況

・登録者数(令和7年8月現在):4名

要介護1	男性	0人		女性	2人
要介護2	男性	0人		女性	1人
要介護3	男性	1人		女性	0人
要介護4	男性	0人		女性	0人
要介護5	男性	0人		女性	0人
平均年齢		79歳	平均要介護度		1.7

(男性1名:週1利用 / 女性2名:週3回利用 / 女性1名:週2回利用)

・各週利用者数

月	火	水	木	金
3名	1名	3名	1名	1名

・各月利用者数

令和6年 4月	46名	令和7年 4月	29名
令和6年 5月	45名	令和7年 5月	25名
令和6年 6月	38名	令和7年 6月	33名
令和6年 7月	45名	令和7年 7月	36名
令和6年 8月	36名	令和7年 8月	23名

2. 活動報告

	午 前	午 後
月曜日	軽作業(箸入れ／荷札作り)	個別メニュー／自立課題
火曜日	個別メニュー／自立課題	クラブ活動(カラオケ／ドライブ／タブレット)
水曜日	いきいきタイム(体験メニュー)	個別メニュー／自立課題
木曜日	体操活動	個別メニュー／自立課題
金曜日	音楽活動	軽作業(箸入れ／荷札作り)

※入浴支援

●行事・イベント(令和7年度)

- 7月:遠足(鳥取県立美術)
- 9月:旅行(日帰り)1班:奥出雲方面 / 2班:蒜山方面
- 11月:インフルエンザ予防接種
- ・祝日には、職員企画の祝日メニューを提供
- 12月:忘年会 / 健康診断
- 1月:新年会
- 2月:節分会

●ヒヤリハット・事故報告

- ・ヒヤリハット: 2件 転倒危険(令和7年4月～8月)
- ・事故報告: 2件(令和6年7月 1件 / 令和7年4月 1件)

●職員研修(令和7年度)

・避難訓練

- 法人: 6月17日(火)土砂・浸水想定避難訓練実施
- 9月17日(水)地震想定避難訓練／伝達・参集訓練実施
- 事業所: 9月19日(金)BCP(事業継続計画)研修実施
- 今後、単独訓練、机上訓練等予定

・感染症対策研修・訓練

- 法人: 6月: BCP、感染症対策マニュアル研修、シュミレーション訓練(ガウンテクニック・吐物処理)実施
- 9月: BCP、感染症対策マニュアル研修、シュミレーション訓練(ガウンテクニック、手洗いの仕方)実施
- 事業所: 6月28日(金)BCP、感染症対策マニュアル研修、シュミレーション訓練(ガウンテクニック・吐物処理)実施
- 9月19日(金)BCP、感染症対策マニュアル研修、シュミレーション訓練(ガウンテクニック、手洗いの仕方)実施

・権利擁護／虐待防止研修

- 法人: 7月: 千鳥福祉会 虐待防止・身体拘束規程研修実施
- 11月: 身体拘束適正化についての研修予定
- 権利擁護／虐待防止についての研修予定

・認知症介護基礎研修終了 1名

●地域イベントへの参加(令和7年度)

クリーン松江: 6月15日(日)地域清掃参加

10月19日(日)参加予定

持田地区行事参加: 6月 1日(日) ヒルクライム松江北山/スタッフ参加

7月26日(日) 持田夜市/露店参加

10月12日(日) 北山駅伝/選手・スタッフ参加予定

10月19日(日)持田ふるさと祭り/露店参加予定

●介護現場体験 6月 島大生2名受け入れ

・事業所の課題

○利用者の方のニーズとご本人の実態が釣り合わない

○地域とのつながり(地域ニーズ、福祉分野ニーズの共有等)

○地域連携の避難訓練の実施

○地域の一般高齢者へのサービス提供

3. 意見交換

①利用者様:

・毎日、楽しく通えている。これからも元気に通いたい。

②地域代表者様:

Q:利用状況からするとまだ受け入れは可能か?

A:受け入れは可能だが、要介護以上という縛り(要支援では利用できない)や一般の方が利用したいという希望はなし。

松江市様:

・松江市の傾向としては要介護1、2は減っていて要支援1、2の方が増えている。重度の方と軽度の方の二極化している。元気な方は元気で、今後は団塊の世代の方が80代、半ばから90代になると状況も変わってくるかなと思う。

ういんぐ職員:

・課題でも述べたが、障がいサービスとの併用ということもあり事業所全体で行う行事、イベント等に気持ちはあっても体がついていかない、外食で食事の対応が出来ない等難しさを感じる。

③地域代表者様:

Q:職員さんの配置は?非常勤職員の割合は?

A:現状は、問題ない。非常勤職員は、事業所の4割。利用のニーズがある為、定員増を考えたいが働き手は不足している。

松江市様:

・松江市全体が課題、どここの法人も職員の確保が難しい、また介護だけでなくいろんな職種でも働き手の確保が難しいのが現状。

地域代表者様:

Q:シルバー人材センターの利用?

A:法人内の他事業所で利用をしたが、利用者の方の対応が難しく続かなかった。

ういんぐ職員：

Q:持田地区の人口は減っていますか？

地域代表者様：

A:一時期上向きだったが、現在は落ち着いてきた。約4,200人程。若い世代が多く、高齢化率は低い方。

ういんぐ職員：

・そんな中で、地域の子育て世代や仕事が落ち着かれた世代が隙間時間に働き手となって頂けたらありがたい。

④松江市様：

Q:クラブ活動にあるタブレットとは？

A:パズルや手で触れて遊ばれるもので療育ゲーム中心、動画を見るということではなく、ゲームが好きな方が高齢者にもおられる。クラブ活動では、その日に活動を選択して頂いている。カラオケやドライブも人気。

地域代表者様：

・利用者さん、職員さんと今後も元気に健康で過ごして下さい。

利用者様：

・ありがとうございました。

※事業所確認欄

☐ 活動報告についての評価を受けることができたか。	○
☐ 要望・助言等受ける機会を設けたか。	○